



▲ 安居橋上で奉納された胡蝶の舞

▶ 二ノ鳥居前に建てられた絹屋殿に到着した3基の御鳳輦



石清水祭 荘厳に

石清水八幡宮で9月15日、「生きとし生けるもの」の平安と幸福を願う勸祭「石清水祭」が斎行されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、本来の形式での斎行は4年ぶり。

4年ぶり通常斎行

石清水祭は、平安時代を起源とする石清水八幡宮で最も重要な祭儀。葵祭(京都市)、春日祭(奈良市)と並ぶ旧儀による日本三大勸祭のひとつに数えられています。

15日午前2時に本殿で「神幸の儀」が始まり、3時過ぎに八幡大神をのせた3基の御鳳輦(神輿)が神人ら約500人のお供の列を従えて本殿を出発。山麓の頓宮に向け、松明と提灯の灯りだけを頼りに進む様子は「動く古典」ともいわれ、まるで平安絵巻から飛び出したかのような幻想的な風景が広がっていました。

約1時間かけ二ノ鳥居前の絹屋殿に達した御鳳輦は、頓宮に入御。夜が徐々に明けゆく中、天皇陛下からの奉納品が奉獻される「奉幣の儀」が行われました。

午前9時頃から放生川のほとりで行われた「放生行事」では、放魚のあと、安居橋上で「胡蝶の舞」が奉納され、多くの人が見守っていました。同日夕刻に、御鳳輦は山上へと還幸。石清水祭は無事に執り納められました。

新100歳 今年度22人

市長と議長 4人訪問し祝う



市長から賞状を受け取る西村さん

「敬老の日」を前に、堀口文昭市長と小北幸博議長は9月16日、今年度に100歳を迎えられる高齢者22人のうち、4人のご自宅を訪れ、長寿をお祝いしました。

来年1月に100歳を迎えられる西村ツギ子さん、は、ご長女、孫、ひ孫とともに市長らを迎えられました。市長と議長から賞状と記念品が贈られると、笑顔で感謝を述べられました。

子ども1人、孫3人、

ひ孫6人に恵まれた西村さんは、現在一人暮らし。近くに住む孫娘さんの家事のサポートを受けながら、体調の良い日はデイサービスに通い、会話を楽しんでおられます。

また、野球などのスポーツ観戦が趣味で「この前のバスケのワールドカップも、日本選手の顔と名前を覚えたの」と、スポーツ観戦の楽しみ方を教えてくださいました。

「親孝行な娘、家族がいて、心配ごともない。何もかもマル！」と両腕で円をつくりながら、家族への感謝の思いを話されていました。

まちの話題

クレーター見えたよ!

朝に見える月を天体望遠鏡で観察する「朝のうちの月見会」が9月9日、淀川三川合流域さくらであい館で開催され、親子連れなど26人が参加しました。

朝のうちの月見会

本イベントは、見晴らしの良い立地を生かし、開館時間に合わせ月の観察を行うことで、宇宙への関心を深めるきっかけとなるよう、さくらであい館が企画。科学普及支援団体てんもんぶが講師を務めました。肉

眼により雲の切れ間に現れた月の位置や形を確認。続いて、天体望遠鏡で観察すると、画面いっぱい鮮明に映し出された月に「クレーターが見える!」と驚きの声を上げていました。

次に、講師による「月のおはなし」を受講。地球の周りを回る月が、太陽光の当たり方で三日月や半月などに見える「月の満ち欠け」のしくみなどを学んでいました。

大阪府枚方市から参加した橋本和樹くん(7)は「初めて望遠鏡で月を見て、楽しかった。次は夜に見たい」と話していました。



天体望遠鏡で月を観察する参加者

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

今月のこの人

ちょんまげのタクシー運転手



久江達雄さん
京都府南部を中心に運行するタクシー運転手。トレードマークのちょんまげ姿が話題になり、テレビや雑誌などのメディアにも出演。八幡市在住。

「男山のふもとに民家があり、生活圏に山が迫りくるような景色。八幡の風景には他にない見応えがあります」。そう語るのは、ちょんまげ姿のタクシー運転手、久江達雄さん。

この髪形にしようと考えたのは、平成22年に世界旅行中に訪れたパキスタンでの出来事。大雨による洪水で被害を受けた村人を励まそうと前髪を剃

り落としたところ、「サムライだ!」と喜ばれたのがきっかけ。旅で出会ったさまざまな国の人が地元のことを誇らしげに話す様子を見て、改めて日本文化を見つめ直したいと感じたといいます。

帰国後は、ちょんまげの結び

かたを本格的に勉強。また「自分の接客を通して、海外旅行者などが日本に良い印象を持ってくれたら」と、タクシー会社に就職。乗客が投稿したSNSなどで一躍有名になりました。

今後は「日本古来の文化に関する知識を接客に取り入れ、乗客を楽しませることに活かしたい」と、これからも活躍の幅を広げ、多くの人を笑顔にさせていきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。